

⑦ 広報よこしば

## 59年度農作業別標準賃金

町農業委員会では、次のように  
に59年度の農作業別標準賃金を  
定めました。



作業内容	賃金	備考
田植	6,100円	1日あたり(実労働8時間) 2食賄付、男女同額
稲刈	6,100	
畑作業一般	4,100	
水田耕起	6,700	
耕耘機	5,400	オペレーター付 賃作業料金
水田代かき	4,900	10アールあたり
耕耘機	5,400	
機械田植	6,000	" (苗費は含まない。4条植が基準)
バインダー刈取	7,600	" (結束用繩を含む。2条刈が基準)
ハーベスター脱穀	5,500	" (補助者賃金は含まない)
コンバイン 刈取・脱穀	15,800	" (補助者賃金・乾燥場までののみ運搬費は含まない。3条刈が基準)
育苗	660	1箱あたり、硬化まで(種もみ代を含む)
乾燥から調整まで	2,300	1俵あたり(水分25%もみの場合)
刈取から調整まで	34,200	10アールあたり

\* これは標準賃金ですので、ほ場の条件などにより、当事者間で適宜調整してください。

### 建設のあゆみ 4月 【工事中】

◎共同利用施設新築工事(東町)

鉄筋コンクリート平家建  
..... 181.5m<sup>2</sup>

今回は、薬剤を使用した効果

体長が0.3~1mmの細長い虫。  
その多くが5~40cmの土中に生息して農作物の根を食べ、植物の生育及び商品価値を著しく低下させます。

### 2 防除の方法

▼殺菌・殺線虫効果を持つ薬剤  
を使用する場合  
サンヒューム・ディトラペッ



### 1 線虫とは?

土の中の隠れた害虫  
『線虫』の退治方法

### 普及所コーナー

的な防除方法を紹介します。  
▼殺線虫剤を使用する場合

市販されている殺線虫剤には、

D C油剤(テロン92など)、D D

55、ネマホルン油剤・粒剤、E

D B油剤などがあります。

ネマホルン粒剤は省力的ですが、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

DB油剤などがあります。

ネマホルン粒剤は省力的ですが、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)

が、冬期の根菜類には薬害が出やすいので使用を避けます。また、EDB油剤は人体への毒性、

D D 55は生産コストなどの問題があり、今後はDC油剤が主体になるとと思われます。(10a当たりの使用薬量=D C油剤20l、

D D 55・ネマホルン油剤30l、

ネマホルン粒剤30kg)



★藤城時計店(東町)  
交通遺児のためにと一万六千  
十七円

★坂本勝利(上町)  
文化会館に柱時計

次の方々から、心温まる善意  
をいただきました。ありがとうございました。

ございました。

(敬称略)

### 3 土壌消毒

クス・クロピクなどを使用する  
と、殺線虫効果のほか、殺菌・  
除草効果も期待できるため、土  
壌病害の総合防除に有効です。